

福島ならではの教育を実現する「教員養成福島モデル」の構築

教育現場のニーズ

- 第7次福島県総合教育計画
 - 「福島ならではの教育」の推進
 - 「学びの変革」の推進

教育委員会

- **連携協定の締結**
令和5年9月に「福島県教育委員会と国立大学法人福島大学との『福島ならではの教育』と『学びの変革』を推進する教育人材の育成に関する連携協定の締結

「教育コース」の導入

県教育委員会が、公立高校普通科に4つの「特色あるコース制」を設け、「教育コース」は県内9校に導入（令和8年度現在）

連携の在り方の協議

双葉八町村、奥会津五町村、ふたば未来学園中学校・高等学校などでの学校体験活動や教育実習、教育支援プロジェクト等の詳細についての協議

【年度別実施計画】

- ◆ **令和8年度**
 - ・新カリキュラム1期生の入試
 - ・双葉八町村、奥会津五町村などの協議
- ◆ **令和9年度**
 - ・教育学部カリキュラム1期生入学
 - ・教職課程スタートアップセミナー等の始動
 - ・「地域教員希望枠」入学者の実習計画
- ◆ **令和10年度**
 - ・「地域教員希望枠」入学者の採用枠新設についての最終的な協議
- ◆ **令和11年度**
 - ・「地域教員希望枠」入学者らによる「教育実習Ⅰ（双葉・奥会津）報告会」の実施

「福島ならではの教育」を実現する教員の養成は、福島に所在し、震災後も福島県の復興・再生を目指して地域とともに歩んできた福島大学でこそ実現しうるもの

福島大学の取り組み

令和9年度の学士課程改革に合わせて教育学部を設置～「福島ならではの教育」を実現する「教員養成福島モデル」の構築～

- 1 入学後に「コース」に所属し学生自ら探究
- 2 教育実習の新しい在り方

3

「地域教員希望枠」の設置

「福島ならではの教育」の実践を力強く牽引する教員を定量的に輩出するための柱となるべき改革

入学前

- 「教育コース」導入の高校での講演、探究活動の支援
- 「高校生セミナー」の開催（県教育委員会との共催）
- 高校生向けのアドバンスプレースメント制度（大学授業科目先取り履修制度）の実

入試改革

- 「地域教員希望枠」の設定 20人/入学定員235人

特別プログラム

「地域教員希望枠」入学者への支援

- 「教職課程スタートアップセミナー」（全学部生必修）
※「地域教員希望枠」入学者は「地域の学校」班でのスタートアップ実習
- 「探究プロジェクト」のカリキュラム（全学部生必修）
- 双葉八町村・奥会津五町村での教育実習Ⅰ
- 「教育実習Ⅰ（双葉・奥会津）報告会」の開催
- 福島県の研修の一部の先取り履修（県教委と協議中）

採用

- 大学推薦特別選考枠を活用し、全員を県教委に推薦できるように養成
- 一般の大学推薦枠とは別枠の設定（県教委と協議中）

採用後

- 節目ごとに大学で発信
- 教育実践ラウンドテーブルで発信、スタートアップセミナーのゲストスピーカー

地域における教育課題

- 東日本大震災からの教育復興
- 人口減少地域の教育維持
- 障がいのある児童生徒の割合の増加
- ICT教育について教員の指導力に課題

教育学部としての再編

【「探究プロジェクト」の新設】

全学生がいずれかのプロジェクトに所属し、2～4年次に探究的・協働的な学びを実践

年次	実践探究科目
	教職課程スタートアップセミナー
	探究入門
1	
2	5つの現代的な教育課題に紐づいた多様な探究プロジェクト
3	● ▲ ◆ ■ ★
4	

- 地域課題探究コース ▲ グローバル探究コース
- ◆ インクルーシブ教育コース ■ 教育臨床コース
- ★ STEAM教育コース

特別支援教育の充実/ICTの利活用促進

「特別支援教育チャレンジプログラム」
「情報教育チャレンジプログラム」などの設定

【「地域教育推進室」の設置】

福島大学と教育委員会、学校現場とのかかわりのある教員2名を雇用予定

【実務家教員の活用】

各市町村教育委員会との連携

「地域教員希望枠」入学者が「教職志望コア層」として、全体の学びをリード → 他の学部生が「周辺参加者」から「十全参加者」へと凝集力を高める効果